

1 単元名 キャラクターカードで世界の民話を紹介しよう  
教材名「木かげにごろり」（東京書籍3年下）

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「民話に出てきた登場人物のキャラクターカードを作る」ことを位置づけた。キャラクターカードとは登場人物の性格を書いて紹介するカードである。叙述をもとに、登場人物の言葉や行動から、性格を想像してカードに記入していく活動をする。このことで「登場人物の性格を想像して読む力」（C読むことウ）を実現できるようにしている。

3 単元について

(1) 児童観 実態調査（第3学年 男子 \*名 女子 \*名 計\*名実施）

本学級の児童は、読書が好きで、図書室でたくさんの本を借りて読んだり、朝の読書にも進んで取り組んだりしている。いろいろな本を読んでいるが、本の感想を書いたり、みんなに紹介したりするのは苦手な児童と得意な児童での差を感じている。また、5月下旬の「ゆうすげ村の小さな旅館」で、場面の様子や登場人物に注目して読む学習を行っている。その学習での登場人物はどんな人か紹介文を書こうというアンケート調査を行った。

問	夕すげ村の小さな旅館にでてくる登場人物を紹介しよう。
答	・やさしい人 *人    ・働き者 *人    ・いい人 *人    ・えらい人 *人 ・すごい人 *人    ・がんばっている人 *人    ・明るく元気 *人

アンケート調査から考えると、やさしいという言葉は出るが、それ以外の語彙が少なく、詳しく紹介するのが苦手であることが分かった。そこで、叙述をもとに、想像を広げることや、どんな人物か表現するための語彙を広げる必要があると考える。

(2) 教材観

本教材「木かげにごろり」は、お百姓たちが地主から木かげを買い取ったことをきっかけに立場が逆転し、次第に意気消沈していく地主が描かれていて、場面の移り変わりとともに人物の性格や気持ちの変化を捉えやすい。地主やお百姓の挿絵に民話独特のおもしろさがあり、紹介するのに適した教材である。そこで、この教材でキャラクターカード作りを行いたい。登場人物のどんなところがおもしろいか、どんな気持ちが想像できるかを叙述を基に考えることで、登場人物の性格を想像して読む力をつけていきたい。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず民話のおもしろさを実感させ、学習意欲が高まるように、ブックトークを行う。いろいろな国の民話を読みたいという意欲をもって取り組めるように設定する。次に、「木かげにごろり」で登場人物の性格を叙述にそって考えていく。人物の性格を表現するキャラクターカード作りを行うことを通して、性格を読むことができるようになる。そして、単元を通して並行読書を進め、自分のお気に入りの民話を選び、キャラクターカードを作ってみんなに紹介する活動を行い、登場人物の性格を想像して読む力を育てていきたい。

4 単元の目標

- 民話のおもしろさにふれて、進んで読書をしようとしている。 (関心・意欲・態度)
- 登場人物の性格を想像して読むことができる。 (読むこと)
- 民話特有の言い回しや表現のおもしろさに気付くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・世界の民話のおもしろさに気付き、気に入った作品のキャラクターカードを作って紹介しようとしている。	・民話に出てくる登場人物の性格を、叙述をもとに想像しながら読んでいる。	・民話特有の言い回しや表現のおもしろさに気付いたり、性格をあらわす言葉がいろいろあることに気付いている。

6 単元の指導計画（11時間扱い）

次	時	主な学習活動	主な評価
---	---	--------	------

1	1	世界の民話のブックトークを聞いて、世界の民話への関心を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックトークを聞いて、世界の民話のおもしろさに気付いている。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>キャラクターカード作りという見通しを持って、いろいろな本を読もうとしている。 (関心・意欲・態度)</li> </ul>
	2	世界の民話のキャラクターカード作りを行う見通しを持つ。	
2	1	「木かげにごろり」を読み、「キャラクターカード作り」という学習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>民話特有の言い回しや表現のおもしろさに気付いている。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>登場人物の会話や行動に着目し、どんな人物か想像して読んでいる。(読む能力)</li> <li>気に入った場面から、登場人物の性格を想像して読んでいる。(読む能力)</li> <li>性格がわかる部分を本文から探し出し、想像を広げて読んでいる。(読む能力)</li> <li>性格をあらわす言葉を考えて表現することができる。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>自分のカードを紹介し、感想や意見を話し合おうとしている。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
	2	叙述をもとに、地主とお百姓たちの関係や性格を想像して読む。	
	3	登場人物の性格が想像できる場面を二つ選んで、その一つをキャラクターカードに記入する。	
	4	登場人物の性格が想像できる場面の二つ目をキャラクターカードに記入する。	
	5	キャラクターカードに性格をまとめる。	
	6	作成したキャラクターカードを紹介し合う。	
3	1	自分の選んだ世界の民話の本より、登場人物の性格が想像できる場面を選びキャラクターカードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>性格がわかる部分を本文から探し出し、想像を広げて読んでいる。(読む能力)</li> <li>性格をあらわす言葉を考えて表現することができる。(言語についての知識・理解・技能)</li> <li>自分のカードを紹介し、感想や意見を話し合おうとしている。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
	2	キャラクターカードに性格をまとめる。	
	3	世界の民話のキャラクターカードを紹介し合う。	

## 7 本時の学習

### (1) 目標

キャラクターカード作りを通して、登場人物の性格を叙述をもとに想像しながら読むことができる。

### (2) 準備・資料

キャラクターカード・性格を表す言葉カード・顔の表情カード・黒板用挿絵・世界の民話コーナー

### (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「木かげにごろり」のキャラクターカードを作ろう。</p> </div> <p>2 登場人物の性格が想像できる場面を選び、キャラクターカードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの場面のどの言葉、行動から想像できるか本文から抜き出す。</li> </ul> <p>「だれのゆるしをえて、わしの木かげに入ろうとする。」</p> <p>「ひええ、とんでもないものを売ってしまった」</p> <p>「だまって家の中に入っていました」</p> <p>「頭をかかえて、そのまま地べたにへたりこんでしまいました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の続きで、もう一つの場面をまとめていくことを話すことと、教師の作成した参考カードで、この部分を作ると例を示すことで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>黒板に挿絵を貼りながら、全体の話の内容を振り返り、自分の選ぶ場面をとらえられるようにする。</li> <li>どの場面にするか決まらない児童には、性格があらわれている部分に教科書に線を引いたところを振り返らせ、おもしろいと思ったところを選ぶように助言する。</li> <li>どの文から登場人物の性格が想像できるのかをはっきりさせ、叙述にそった想像になるようにする。</li> </ul>

「ごちそうを絵にかいてそなえた」

- ・なぜその文を抜き出したか、理由を考えてまとめる。

「〇〇というところから、～という気持ちが想像できました」

「〇〇というところから、～のような様子が想像できました」

- ・登場人物の表情があらわれるように顔をかく。

「困った様子だから・・・」

「喜んでいるから笑顔で・・・」

「いじわるそうな顔はこんな感じかな・・・」

「がっかりしているから暗い色で・・・」

- 3 できた場面を読み合い、互いの意見を比べ合う。

- ・この理由はよく分かるね。
- ・こういう気持ちもあるよね。
- ・もう少し説明してほしいな。

- 4 本時の学習を振り返る。

- ・学習カードに振り返りを記入する。

- 5 次時の学習めあてを確認する。

- ・並行読書により読んでいる本を発表する。

- ・理由を書くことを重視し、その理由を考えることで想像を広げられるようにしたい。
- ・性格を想像するのが苦手な児童には、どんな性格だと考えられるか、性格を表す語彙を考えた言葉カードを参考にするように話す。
- ・顔を書くときには、その時の気持ちや性格がわかるような表情になるように注意を促す。
- ・顔の表情の書き方に戸惑っている児童には、顔カードを参考にさせる。
- ・場面の記入の課題が解決した児童には、読む人が分かりやすいように色を付けたり字を太くしたりする工夫をするようにする。

-----  
評価（読む能力）

登場人物の性格を叙述をもとに想像しながら読んで、キャラクターカードにまとめている。

- ・ペア学習として、となりの席の人と読み合い、意見や感想を述べ合って、より分かりやすいものになるように自分の書いたものを直したり付け足しして考えを深められるようにする。
- ・学習して自分が分かったことを振り返りカードに記入して、次時への学習意欲につなげたい。
- ・次の時間にはキャラクターカードを完成させる目標を示し、学習意欲を高めるようにする。
- ・単元の始めから行っている並行読書で、進んでたくさん読んでいる児童を紹介し、他の児童の読書もさらに進むようにしたい。